



令和7年度守谷市立御所ヶ丘小学校グランドデザイン



学校経営の方針

- 1 「児童が主役」を実現するために、児童の考える力の育成と主体的な活動の推進に努める。
- 2 英語×キャリア教育をベースにした主体的・対話的で深い学びを通して、未来に向かってたくましく生きる児童を育成する。
- 3 変化に向き合い、協働して課題を解決することを通して、思いやりと合意形成できる児童の育成を図る。
- 4 「報告・連絡・相談・確認」や「時」を常に意識し、学校教育目標の実現を目指す教職員集団を構築する。

目指す学校像

- 児童、教師がともに学び合う学校
- 何事にも積極的に取り組む学校
- 保護者・地域から信頼される学校

目指す教師像

- 人間性豊かで個に応じた配慮のできる教師
- 研修に励み自ら指導力の向上に努める教師
- 児童・保護者・地域・同僚から信頼される教師

【学校教育目標】

児童が主役、未来に向かってたくましく生きる力の育成
～ 児童の笑顔があふれる学校～

目指す児童像

未来に向かってたくましく生きる児童

今年度の重点目標【組織目標】

- 英語×キャリア教育をベースにした主体的・対話的で深い学びを通して、未来に向かってたくましく生きる児童を育成する。
- 校内研修の充実により、授業力の向上に努める。

【守谷市の教育目標】

- 新しい時代をたくましく生きぬく人づくりを目指して

【守谷市学校教育プラン・守谷市学校教育改革プラン】

取り組むべき重点課題と重点施策

- 1 新しい時代を切り拓く確かな学力の育成（ステップアッププラン）
- 2 豊かな心をはぐくむ教育の推進（ハートフォーヒューマンプラン）
- 3 健やかな身体を育む学校づくりの推進（ヘルス&フィジカルプラン）
- 4 社会に開かれた学校づくり（パートナーシッププラン）

【もりやの学校のニューノーマル】

新しい時代を生きぬく人づくり

- ニューノーマルな学び方 「9年間を見通したつながりの教育」
- ニューノーマルな心の教育 「いじめ・不登校ゼロパック+（プラス）」
- ニューノーマルな働き方 「子どもと向き合うための働きがい改革」
- ニューノーマルな学校教育 「地域とともにみんなのために」

守谷市の教育が目指しているのは、「時代の壁を乗り越えたウェルビーイングな守谷の教育」です。「未来の教育もりや プロジェクト2025」の始動です。御所ヶ丘中学校区の各小中学校においても「ニューノーマルな学校づくり」を積極的に推進します。

1 ステップアッププラン（確かな学力）

- 英語×キャリア教育をベースに**つながり**を意識した**教科統合型授業「御所小イングリッシュ・キャリアプロジェクト」**の計画的実践を通して、自ら考え判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する基礎的な力を育成する。

【具現化のための取組】

- ・ICTや発信力を高める学習環境であるアクティブ・ラーニング室を活用し、小小・小中連携や他国と交流し、世界とつながる「**守谷型英語・グローバル教育**」及び「**広域交流学習**」を実践
- ・指導力の向上を図るための校内研修の計画的な実践

【数値目標】（児童アンケート）

- ・人の話を聞き、自分の意見と交流することができる児童 90%以上
- ・友達との対話を通して、自分の考えを深めることができる児童 90%以上
- ・英語で簡単なあいさつや会話を楽しむことができる児童 90%以上

2 ハートフォーヒューマンプラン（豊かな心の育成）

- ニューノーマルな心の教育を大切にし、自他を尊重して生活しようとする児童を育成する。

【具現化のための取組】

- ・発達に応じた「いじめ防止プログラム」の実施（いじめをなくそう仲良し週間等）
- ・児童の道徳性を養う「考え、議論する道徳」の実践
- ・一人一人に寄り添う特別支援教育の充実（読み書きスクリーニングの定期的な実施）
- ・特別支援教育及びソーシャルスキルトレーニングに係る研修の計画的実施

【数値目標】（児童アンケート）

- ・いじめはどんな理由でもいけないことだと考えている児童 100%
- ・みんなで助け合って生活している児童 90%以上

【御所ヶ丘中学校区の目標】

未来に向かってたくましく生きる児童生徒の育成

【御所ヶ丘中学校区一貫教育の重点目標】

【御所中学校区一貫教育で進めるニューノーマルな学び方】

→9年間を見通したつながりの教育

- 「守谷型ラーニングスタイル」「広域交流学習」
- 「守谷型英語・グローバル教育」・オンライン英会話
- 「守谷型e-ポートフォリオ」「デジタル・ノート」

【御所中学校区一貫教育で進めるニューノーマルな心の教育】

→いじめ・不登校ゼロパック+（プラス）の推進

- 「いじめ防止プログラム」の実施
いじめなくそう仲良し週間 ロング昼休み
発達に応じた「いじめ防止プログラム」の実施
- 「守谷型S S W」（中学校区に1人）の活用

3 ヘルス&フィジカルプラン（健やかな体の育成）

- 健やかでたくましい心と体をつくろうとする児童を育成する。

【具現化のための取組】

- ・ニューノーマルな学校教育に基づいた健康や安全を考え実践できる自己管理能力の育成
- ・「体力向上プロジェクト」（50m走、ボールスロー、投力アップ）の定期的実施
- ・外部講師を招聘し、児童の発達段階に応じた生（性）教育を計画的に実施

【数値目標】

- ・体力テストの総合評価A+Bの割合 55%以上
- ・健康で安全な生活を心がけている児童 90%以上（児童アンケート）

4 パートナーシッププラン（開かれた学校づくり）

- 児童・保護者・教職員・地域の幸せのため、自己実現できるニューノーマルな学校づくりを推進する。

【具現化のための取組】

- ・令和5・6年度の実践に基づいた防災・キャリア教育を中心としたコミュニティースクールの推進（引き渡し訓練に北守谷まちづくり協議会の防災WGが参加）
- ・地域人材「スクールボランティア」を活用した教育活動の計画的実践

【数値目標】（保護者アンケート）

- ・保護者や地域との連携での適切な対応 90%以上
- ・児童の様子や行事・出来事をHP等で情報発信している 90%以上